様式第４号（第４条関係）

伐採等届出に係る変更届出書

年　　月　　日

都城市長　宛て

森林所有者
住所
氏名
電話番号

伐採する者（立木を伐採する権原を有する者）
住所
氏名
電話番号

伐採後の造林をする者
（造林する権原を有する者）
住所
氏名
電話番号

仲介事業者及び伐採事業者
（立木を伐採する権原を有しない者）
住所
氏名
電話番号

年　　月　　日に届け出た下記の伐採届に関し、変更がありましたので届け出ます。

記

１　伐採届内容

適合通知の文書番号及び日付	年　　月　　日 都森第　　号
森林の所在場所	都城市
伐採面積	ha
伐採期間	

２　変更の内容

３　伐採及び伐採後の造林の計画
別添の伐採計画書及び造林計画書のとおり

４　変更の理由

（別添）

伐 採 計 画 書（変 更）

伐採する者（立木を伐採する権原を有する者）
住　　所
氏　　名
電話番号

1　伐採の計画

伐 採 面 積	ha（うち人工林　　ha、天然林　　ha）		
伐 採 方 法	主伐（皆伐・択伐）・間伐	伐採率	%
作 業 委 託 先			
伐 採 樹 種			
伐　採　齢			
伐 採 の 期 間			
集材・搬出方法	車両系(集材路)・架線系・その他（　　）		
集材路の場合 予定幅員・延長	幅員　　m　・　延長　　m		

2　備考

【注意事項】

1　伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
2　樹種は、スギ、ヒノキ、マツ（アカマツ及びクロマツをいう。）、その他の針葉樹、ブナ、クヌギ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
3　伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（〇～〇）」のように記載すること。
4　伐採の期間が１年を超える場合においては、年次別に記載すること。

（別添）

造 林 計 画 書（変 更）

伐採後の造林をする者（造林する権原を有する者）
住　　所
氏　　名
電話番号

1　伐採後の造林の計画

（1）造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	ha
人工造林による面積（Ａ＋Ｂ）	ha
植栽による面積（Ａ）	ha
人工播種による面積（Ｂ）	ha
天然更新による面積（Ｃ＋Ｄ）	ha
ぼう芽更新による面積（Ｃ）	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他（　　）・なし
天然下種更新による面積（Ｄ）	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他（　　）・なし

（2）造林の方法別の造林の計画

	期　間	樹　種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	作　業委託先	鳥獣害対　策
人　工　造　林（植栽・人工播種）	年　月　日～ 年　月　日		ha	本		
天　然　更　新	年　月　日～ 年　月　日		ha			―
５年後において適確な更新がなされない場合	年　月　日～ 年　月　日		ha			

（3）伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

2　備考

【注意事項】

１　造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。

２　植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林」又は「木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあって、植栽による更新を行う森林」として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。

３　造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

４　５年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であって、伐採の終了した日から５年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。

５　鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

６　伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後５年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。